

## 六条の伝承

六条には古くより親から子へ、古老から若者へと語り継がれた伝承がある。

永年の経験を凝縮したような、味わいの深いものやら、ほほえましくて憎めない迷信のようなものなど数多くある。時代と共に人々の頭からだんだん忘れ去られようとしている。

### 寒定め

小寒の入りから節分までの約二十七日間を十二区分して、一区分を一ヶ月とみて、十二ヶ月を予想する。対応する時間帯が晴れていたらその月は晴天が多く、雨が降れば降雨量が多いと予測する。雪は晴とし、雪が強く降り、寒さが厳しいと夏の暑さも厳しいと予想する。雨一粒降るとその千倍降る、とす

### 風定め

十月二十日は風定めの日で、この日の午前十時までの風の方向によってその年の雪の量を占う。

北風……パラパラ 南風……ポツポツ

西風……大雪

東風は吹くまい、私しゃかどで主を待つ

### 夢占い

朝夢は、正夢である

朝日のでる夢を見ると、出世する

へびの夢を見ると、金がたまる

歯の抜けた夢は、悪い事がある

### 前兆

ネズミが家から急にいなくなると、火事になる

カラス鳴きが悪いと、誰かが死ぬ

夜のクモは不吉なので、殺せ

イタチが前を横切ると、凶事がある

屋敷内の立ち木が枯れると、家に不幸がある

年の始めに近親に死者がでると、その年に七人の葬

式がある

病人が会せ鏡をすると、死が近い

## 天気

夕焼けになれば、明日は晴れ  
朝の虹は雨、夕べの虹は晴れ  
月がかさをさすと、明日は雨  
東の雷、雨知らず  
西の空が曇れば、まもなく雨  
カラスの水浴び、明日は雨  
トンビが高く舞えば晴れ、低く舞えば雨  
トンビの左舞い、明日は雨  
フクロが夜“のりつけほうせ”と鳴くと、明日は晴れ  
ヘビが木に上れば、雨  
カエルが鳴けば、明日は雨  
カエルが土中深く入って冬眠する年は、大雪  
モズの餌が高い所にあると、大雪になる  
雁が早く渡ってくると、雪が早く降る  
カマキリが高い所に産卵すると、大雪

## 農事

大雪の年は、豊作である  
竹の花が咲くと、その年は大凶作

## 禁忌

クリの豊作、米の不作  
種まきは“カ”のつく日がよい  
(二日、三日、四日、五日、六日、七日、八日、  
九日、十日、二十日の十日ある)  
“ニチ”の日にまくと、ニチャついで生えない  
八せんに大根を引くと、ズが入る

カゴを頭にかむると、背が伸びない  
食べてすぐに横になると、牛になる  
茶わんをたたくと、餓鬼が来る  
赤飯でお茶漬すると、嫁入りに雨が降る  
御膳様にお茶をかけると、仏様が泣かっしゃる  
月のあるものに、漬物や梅干しのかめに手を入  
れてはいけない  
食後お茶を飲まない、のどに毛が生える  
櫛を拾ってはいけない、九死を拾う  
屋敷内に柳や藤の木を植えると、垂れ下がるので家  
運が傾く  
ビワの木を植えると、長病いになる

ホウズキを植えると、病人が出る  
塩気を捨てると、シモヤマイになる  
熱い湯をタナヅリ（下水）に流すと、目が悪くなる  
鏡を表向きに置くと、氣狂いになる  
元旦に箒を持つと、福が逃げていく  
夜爪を切ると、親に早死にされる

## 病 氣

はしかになったら、ワラ人形を作り赤飯と共にサン  
ダワラにのせて川に流す  
種痘のあとに、赤いダルマと赤飯をサンダワラにの  
せて川に流すと軽くすむ  
酒をノンだ湯飲みでお茶を飲むと、中風になる  
ミミズに小便をかけると、オチンチンがはれる  
シャックリが出たら、湯呑みの上に箸を十字におき、  
四ツ隅から湯を飲むと治まる  
のどに魚の骨がささったら、ツゲの櫛でのどをなで  
る

耳の穴へ虫が入ったら、煙草の煙を吹き込む  
火葬場の煙出しのススを取って飲むと、肺病が治る

火傷に小便をかける、又はドボ漬（糠みそ漬け）の  
汁をつける

蜂にさされたら小便をつける、又は歯クソをつける  
オコリ（マラリヤ）にかかったら枕の下にへビの皮  
を入れる

産後二十日間はお天道様にあたってはいけない、外  
に出るときは笠をかぶって出る

じんましんになったら、左縄をなつてこすると治る  
目もらいができたら “目もらいかと思つたら小豆粒  
やった” と唱えて小豆粒を一つ井戸へ落とす

ヤニ目になったら、 “ヤニ目大売出し” と半紙に書  
いて貼っておくと読んだ人がヤニ目になって自分  
は治る

上の歯が抜けたら、雨だれに捨て、下の歯が抜けた  
ら雨どいの中に捨てる